



平窪の学舎



第37号

校庭で、元気に運動！ 校庭が完全復旧しました。

災害後、本校校庭は、災害対策現地本部や自衛隊による入浴支援の場として活用されてきました。広い駐車場も必要となり、砂利を敷いて対応しました。児童による校庭の使用は、12月2日より、一部可能となり、体育の授業や外遊びを行って参りましたが、1月17日に全面的修復が完了し、全面使用が可能となりました。子どもたちは、大喜びです。体育の時間も大休憩の時間も、思いっきり体を動かしています。



命の授業 「いのちのあさがお」(道徳科) [3年生]

～命の尊さ・大切さ、家族の愛・絆などについて、深く深く考えました～

1月21日(火)に、志賀としえさんを講師として迎え、3年生が「命の授業」を行いました。

はじめに、平成5年9月、白血病のためわずか7歳(1年生)で亡くなった丹後光祐(たんごこうすけ)君とその家族や同級生の姿(実話)を描いた映画「いのちのあさがお」を視聴しました。

その後で、志賀さんのお話を伺いました。志賀さんは、自身も白血病を発症し、つらい闘病生活を送られ、骨髄移植等の治療を受けて、白血病を克服されました。現在、骨髄バンクのボランティアにも携わっており、子どもをはじめ多くの患者さんやその家族と関わってきました。また、大震災では、ご両親を亡くされています。

志賀さんの命に対する思いや家族に対する思いを子どもたちに話していただいたことで、一人一人の子どもが、「命や家族の大切さ」に向き合い、自分の考えを深める時間になりました。

